



真宗
大谷派
正行寺

正行寺の境内につき
正行寺にご用のある方と
契約車以外の駐車は
ご遠慮ください。
正行寺は



うらまちにある飲食店の中では、おそらく一番の古株。もともとは、女将さんのご両親が韓国家庭料理を提供する店として始めた。それまで調理の経験のなかった二代目が料理を教わり、引き継いだのが昭和五十年。長年に渡り、まじの変化を見続けて来たご夫婦だ。

ひと昔前は、ご自身たちも若くて元氣。朝三時まで営業し、うらまちの他の店にも飲みに行ったり、周りの店の人も食べに来て、店内もわんわんとしていたそう。店が活発な社交場となっていた様子が目に浮かぶ。

メニューは、まずは焼肉。ビビンパやクッパなどのご飯メニューも充実して



いる。人気ZOMEメニューはクッパのスープを使った青唐ラーメンだそう。素材の味をいかした自家製キムチやナムルもとってもおいしい。

実は、お二人は寝る間も借し、店の営業時間を縫うように山菜採り・キノコ狩りに山に出かけるのを楽しみにしている、それら山の幸は店でも供される。おすすめメニューに山菜やきのこが書いてあったら要注目だ。

青華山

営業時間 17:00~23:00
火定休
TEL 0263-32-5642
松本市大手5-6-1

浜千鳥さんは、店の外にも中にも手書きのお品書きが沢山貼ってあり、それがなんとも魅力的。そのうえ品数も多いから、目移りして注文を決めかねてしまう。そんな品書きを見ながらまずはお通しで一杯。居酒屋らしい楽しさだ。

おすすめを聞くと、その日はちようどしめ鯖を仕込んでいるからと、しめ鯖と牛スジを勧めてくれた。サツと酢を通した瑞々しいしめ鯖。牛スジは、牛のアキレス腱だけを濃いめの味に煮込んで仕上げに松本のねぎを散らした、コラーゲンプルプル、お酒が進んじやう逸品だ。

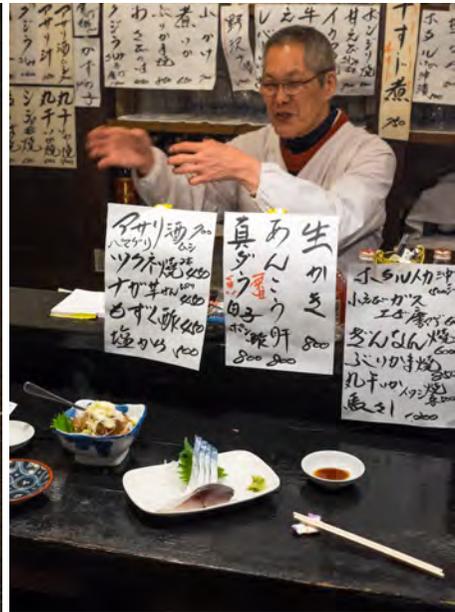
店主の辻さんは優しい語り口。周りの呑み屋にもちよこ顔を出しているようで、このお仕事、この場所を楽しんでいるのだなと感じる。

圧巻の手書きメニューも、ご自身でさりと書いています。

店内はカウンター、小上がり、12人入れるお座敷もあるので、一人呑みにも宴会にもと、いろんなシチュエーションで利用できる店だ。

浜千鳥

営業時間 16:00~22:00L.O.
水定休
TEL0263-36-5700
松本市城東1-3-19 松永ビル1F



うらまちが「表現者のまち」になったなら

コロナ禍で浅草のスタジオが閉鎖、活動の場を失ってしまったとき、若くやる気のあるメンバーに恵まれ活動していたので、彼らが芝居できる場を作らなくてはいけない、そして観客も集めなくてはいけないと思い必死でした。

魚長鮮魚店のビルの一室を使わせて貰えることになり、僕の故郷松本での再出発となりました。メンバーは公演の為に全国から駆けつけます。コロナに振り回されながらも、年間23公演をおこない、のべ千人近い観客が来てくれました。想像以上にスピード感のある一年間でした。

僕らは面白い芝居をしていることに自信を持っていました。とにかく見てもらう。それが伝わったという感触もありました。小劇場の臨場感にもこだわりを持っているけれど、一番のこだわりは作品の中で役者があるのままでさらけ出しているか、その人本来の姿が現れているかということです。人って、役者でなくてもいつも何かを演じてしまうものなのです。自分がかっこよく見せようとか、かわいく見せようとか鎧を着てしまっ。でもその鎧、舞台上に立ったらすぐバレてしまう。だから僕はいつも役者たちに「演じるな！」と言っています。魅力を一緒に探しそれを引き出すような演出をしています。

来年度も公演やワークショップを予定しています。本気で表現しようという意欲を持つた人には、僕の教えられることを全て伝えようという気持ちで待っています。

芝居やアートなど「楽しい」という気持ちや生き生きとした表現がポツリポツリと現れることで、人が惹きつけられやってくる。うらまちが多様な表現の場になる。ワクワクする未来を思い描いています。



劇団「東京アフロ」がうらまちに拠点を移し「TEAM Opceao」として再出発して一年が経った。作・演出するK.Staboの林邦應さんにお話を伺いました。

魚万汲田
大貫青果店
塩屋小路
Shisha Bar Hanazato
ナベリン
琴光堂
le sourire
日より 俊
藤林屋
水城
郵便局
酒と雪
蔵音
thumbs up
ひびき
木曾屋
上原善平商店
和花
女鳥羽川

恵光院
コトブキ薬局
奥平医院
輝々
むに。 申八
鯛萬小路
ところ
下横田 公民館
鯛萬の井戸
パプテスト協会
鶴亀
feel at home
青華山
まるにし
正行寺
茶房侘助
正一位 天日稲荷 大明神社
ニューダン シンク
宇宙堂
魚長鮮魚
鳥よし
はなれ
満
ニチカ

魚万汲田
大貫青果店
塩屋小路
Shisha Bar Hanazato
ナベリン
琴光堂
le sourire
日より 俊
藤林屋
水城
郵便局
酒と雪
蔵音
thumbs up
ひびき
木曾屋
上原善平商店
和花
女鳥羽川

豆まめ
give me little more.
三代食堂

凡例
食事処・レストラン(昼)
食事処・レストラン(夜)
食事処・レストラン(昼・夜)
居酒屋
スナック
喫茶・カフェ
物販
スイーツ
湧水・井戸
その他

店名末尾に★マークのあるお店は、本紙配布店です

TAKE FREE | ご自由にお持ちください

URA NO MAMA は、定期的に発行予定のフリーペーパーです。
2ヶ月に一度、松本市うらまちの魅力や歴史を紹介していきます。

Instagramアカウント@ura_no_mamaでは
新規発行のお知らせ、配布店の紹介、本誌紙面に掲載
しきれなかった取材写真をご紹介します。



うらまちを通じ松本の街を見直し、松本がもっと楽しくなる。
当マップ配布に協力してくれる店、施設リスト

- ① ベラミ人形店
- ② salon as salon
- ③ cafe chiiann
- ④ 葉日
- ⑤ フランス惣菜 ルニ
- ⑥ 横山薬局
- ⑦ カモシカスタンド
- ⑧ ゲストハウス tabi-shiro
- ⑨ そればな
- ⑩ books電線の鳥
- ⑪ 三代澤酒店
- ⑫ たい焼きふるさと
- ⑬ 飯田屋路店
- ⑭ something tender
- ⑮ ガルガ
- ⑯ てまりや
- ⑰ Plaire
- ⑱ Oldies B Goodies

旅館すぎもと(松本市美ヶ原温泉) CreperieMonkava(松本市島内)
本・中川(松本市元町) 華陽麵坊(松本市元町)
オートプラザ諏訪(諏訪市) 松本マツダオート(松本市平田)

配布にご協力いただける店、施設募集中です。



かつて松本で一番の繁華街だった“うらまち”は時代の波に取り残され、ひっそりと佇んでいる。そこで店舗や地元のみなさんの協力のもと、多彩な町の魅力を発信しつつ新たなアプローチ(エンターテイメント)で活気を取り戻そう!というプロジェクト。2022年2月5日(土)~27日(日)長野銀行大名町支店でお芝居の写真展を開催
2022年2月19日(土)~27日(日)うら町会館でURANOMAMA表紙写真展を開催



<https://note.com/uramaticstreet>

うらまちと周辺のお店をGoogle Mapで見れます。

<https://qr.paps.jp/vtZFM>



企画・編集・デザイン: 梅川茜
写真: 宇賀神拓也
発行: 信州松本うらまちレジリエンス協議会 2022.02.17
長野県地域発元気づくり支援金活用事業